

委員会のうごき



産業建設

ケーブルテレビ加入促進と事業説明 6名の臨時雇用で対応



産業建設常任委員長
下村 勝幸

◆平成21年度の一般会計の決算審査が行われました。本委員会では、事業に対する費用対効果のあり方が指摘されました。例えば、約800万円で「NPO 砂浜美術館」への業務委託が行われているが、本当にこの委託に見合っただけの、観光振興の役に立っているのかと、その実効性や費用対効果が指摘されました。この件については、より具体的な経済効果の確認（金額や交流人口推移）を行い、次回予算要求の時点で、きちんと提示するように申し入れました。

◆補正予算で賃金として437万1千円組まれています。これは県の雇用対策の基金事業で100%の補助

事業です。

具体的な業務内容は、今、整備されている、黒潮町のケーブルテレビへの加入を促進するために、6名を臨時雇用し、町民に丁寧に説明しながら、加入率を上げる努力をするための事業です。委員からは、「最初から赤字になる事業にお金を入れるべきではない」との意見もありましたが、「町民に対しきちんとした告知を行い、きめ細やかな対応をしていただきたい」との意見もありました。

どちらにしても、広報や様々な情報チャンネルを通じて、きちんと情報提供を行うよう申し入れました。



各所で情報基盤整備の工事が行われる

